

ご一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

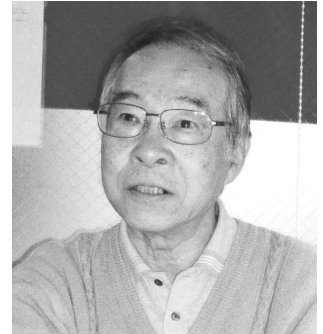
NPO 法人 中野ふくし倶楽部
発行責任者 北風敦子
編集者 田中芳樹
中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
TEL 03-3384-5616

いま、中野の教育に何が起きているか

中野の教育に、いま様々な問題が起こっています。中野ふくし倶楽部社員でもある西惇さんにお話を聞きました。

西 惇 さん
(にし あつし)

インタビュー



「中野の教育を守る区民の会」呼びかけ人
元 私立中学・高校 校長

●中野の教育で、いまどういうことが問題になっていますか？

昨年 12 月の教育委員会で、教育長が突然「国旗の常時掲揚を、事務局として校長に要請してきたい」と発言しました。これは議題にもなかったことで、その場で教育委員の中からも異論が出されました。しかし教育長は「事務局として校長会で要請します」と発言し、実際に校長会の翌日からいくつかの学校で常時掲揚が始まりました。

実はこの問題は一昨年、同趣旨の請願が区議会に出され、文教委員会では否決、本会議では賛否同数となり、議長の賛成で採択となりました。

しかし、その後の教育委員会の見解は「現に区立学校において行われている国旗の取り扱いは、(中略)適切に行われている」つまり現状のまま問題ないというものでした。ですから今回の教育長の発言とその後の動きは、これまでの教育委員会の見解を、民主的な手続きを無視してひっくり返したもののなのです。

●学校に国旗を掲揚することには賛成だという人もいますが・・・

国旗については色々な意見があります。しかし、国旗国歌法が制定されたときにも政府は「義務付けなどを行うことは考えておりません」と答弁しています。学校に常時国旗を掲揚することを押し付けるべきではありません。

この間、各学校に国旗掲揚のためのポールの設置がすすめられてきました。しかし、この費用がどこから出ているか明らかになっていません。このような不透明なやり方で、教育現場に政治を持ち込もうとするのは止めるべきです。真の愛国心はこのようなやり方で育まれるものではありません。

●「はだしのゲン」の問題もとりあげられているようですが・・・

中野区教育委員会に陳情が出ています。「『はだしのゲン』を教育現場から撤去せよ」というものです。行政が、ひとつの文学作品を槍玉に挙げて図書館から撤去させるなどということはあってはなりません。何が子どもたちにとって良いかということは、現場の先生方の判断に任せるべきです。

「はだしのゲン」という作品は、原爆や戦争の悲惨を作者が体験にもとづいて描いたすぐれた作品です。外国語にも翻訳されています。陳情は描写や事実関係を

あげつらって攻撃していますが、行政の措置として撤去させようとするやり方は、読書の自由を侵害し、民主主義に反すると思います。

●これからの中野の教育に期待することは何ですか？

私は塔の山小学校、中野第十中学校の出身ですが、当時の学校は牧歌的でした。ところが今は、業績主義が現場に持ち込まれ、少しでも学校の「業績」を上げるために、教員は超多忙です。書類書きや研修などで、子どもに向かう時間が少ないという本末転倒の実態があります。教育の現場がギスギスしてきています。その上に行政がこのような介入を行えば、現場を混乱させます。

私は教育こそ「手作り」が大事だと思っています。学校というのは地域のコミュニティの中心でもあります。現在の管理主義的な教育行政を止め、区民の声、地域の力が反映され、子どもたちがのびのびと成長できるような教育を取り戻すために、私も力を尽くしたいと思います。

中野ふくし倶楽部 特別企画 / 中野区医師会 後援

認知症ケアのこころ

地域に暮らすぬくもりの絆をつくる

3 月 26 日(水) 午後 2 時から 3 時 30 分
中野区医師会館(中野 2-27-17) 3 階にて

定員：180 人 参加費：500 円

参加ご希望の方は、電話、FAX、メールのいずれかで
お申込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

電話：03-3384-5616 ファクス：03-3384-5617 メール：nfcaozora@nifty.com

長谷川式認知症スケールの作成者

長谷川和夫先生

精神科医

認知症研究・研修東京センター

名誉所長

聖マリアンヌ医科大学名誉教授

お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

ノロウイルスやインフルエンザが流行っています。皆さんは大丈夫ですか。この冬の寒さは身に伝えますね。寒い夜は暖かい鍋料理を家族・友人と一緒につつきたくありません。

中野では、2012年に孤独死が193人と聞きました。人は一人では生きられないはずなのに、何か淋しい実態がひたひたと私たちの後ろから迫ってきます。世界最高の平均寿命はお隣さんや井戸端付き合いによると言われてきましたが、その「ご近所の底力」が低下しつつあるなんて…。

でも、私たちの小さな努力を束ねていけば、必ず「人間のまち」を取り戻すことはできます。先に希望が見えれば私たちは元気になるれます。

田舎からフキノトウが届きました。春はあと少しでやってきます。

チャイルドライン中野子ども電話 主催

いじめ、大人たちの出番です

ストップいじめナビ代表、ラジオパーソナリティ

荻上 千キさん

3 月 15 日(土) 午後 1 時 30 分~3 時 30 分
桃園区民活動センター B1 階 多目的室にて

定員：70 人 参加費：無料

お問い合わせ電話：080-3919-0489(大畑)

—この事業は中野区社会福祉協議会の在宅福祉助成を使って実施されます—

中野ふくし倶楽部日誌

12 月 20 日 ジャズ&ディナー2013

1 月 8 日 氷川神社参拝

1 月 18 日 あおぞら新年会 40 人参加

新しい年へ、希望つないだ ジャズ&ディナー2013

年末恒例となったジャズ&ディナー、今年は昨年を上回る 79 人の方々のご参加を得て、12 月 20 日、盛大に開かれました。

教育評論家、三上満さんも飛び入りで絶唱。大変楽しい会となりました。ご参加、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

